

# 少年

第435号(1) 令和4年6月(水無月)発行



山梨県警察本部  
生活安全部 少年・女性安全対策課  
甲府市丸の内1-6-1  
055-221-0110 内線3082  
少年対策官 北原宏明

## 水のような存在に



6月に入り、日本は北海道を除く地域で梅雨の季節を迎える。この時期ははっきりとしないぐずついた空模様が続き、憂鬱な気分になりがちである。また、湿度も高く体調も崩しがちである。休息をとったり、気分転換を上手に取り入れながら心身共に健康が保てるように心がけたいものである。雨の日の通勤・通学にも十分注意する必要がある。特に自転車を利用している方はマンホールや金属の側溝の蓋には十分に注意を払って運転するようにしよう。また、くれぐれも傘差し運転をすることのないようにしよう。傘差し運転は道路交通法に違反する行為となり、指導の対象になるだけではなく、命にかかわる重大な事故を引き起こすこともあるので絶対にやめよう。※裏面の自転車の危険運転項目も併せてご覧ください

ここまで雨についてのマイナスなイメージばかり述べたが、雨は私たちの生活において、なくてはならない存在である。米を主食としている日本において、この梅雨時の雨は田を水で満たし、稲の生育を促すのには欠かすことのできない、まさに「恵みの雨」と言える。さらに雨水は植物を育てるだけでなく、人間をはじめとする地球上に住んでいる動物の飲み水となったり、水力発電に用いられて電気を生み出したりと人間が生きていくために最も大切な存在のひとつであると言っても過言ではない。

では、地球上に存在する水のうち、何%が飲み水となる淡水かご存じだろうか？国土交通省のHPによると地球上に存在する淡水はわずか2.5%しかないそうだ。残りの97.5%は海水なのである。さらに河川・湖沼等から得られる水は何と0.01%しかないのである。地球は、「水の惑星」と呼ばれており、水はたやすく手に入れられる存在のように思えるが、私たちが生きていく上で欠かせない生活に使える水はとてまもなく貴重な存在なのである。

このことからわかるように、水は地球や人間にとって欠かすことのできない大切に貴重な存在であると言える。この地球上で、水と同様に大切に貴重な存在がある。それは、私たち人間の命だ。この世の中には価値のない人間など存在しない。そのことを再認識し、自らに与えられた命を大切に、自分自身を愛してこれから人生を歩んでいこう。また当然ではあるが、他人の命も大切に価値ある存在である。他人の価値を認め、尊重してこれからの人生を歩んでいくことも忘れてはならない。水のようにやわらかく、透き通ったきれいな心を持ちながら。そして水のように、何かの役に立てるような存在として。



## 一人の生命は全地球よりも重い

今年の5月15日、沖縄が日本に返還されて50年の節目を迎えた。太平洋戦争時、沖縄では地上戦が行われ、沖縄県民の4人に1人が犠牲になった。そして今、ロシアのウクライナ侵攻が始まってすでに3カ月余りが過ぎようとしている。連日、多くの罪のない人々の命が奪われている。このような報道に接して、皆さんは何を思うだろうか？また、人の命はどのくらいの重さだと考えているだろうか？

この問いに対する1つの答えとなるであろうことばがある。それは「一人の生命は全地球よりも重い」である。これは、中村正直（明治時代の啓蒙思想家）がサミュエル・スマイルズの「自助論」を翻訳し刊行した「西国立志編」のなかで用いられた記述である。1977年に日航機がハイジャックされ、バングラデシュのダッカ空港に強行着陸し、日本政府が身代金の支払い等を求められた際に、当時の福田起夫首相が発言したことで知られている。

今からさかのぼること約80年、世界では地球規模で戦争が行われていた。第二次世界大戦である。その際にヨーロッパ州のリトアニア共和国において、自分や家族の危険を顧みず、多くのユダヤ人の命を救った日本人がいるのをご存じだろうか。その日本人の名前は杉原千畝という。千畝は岐阜県生まれ、昭和14（1939）年にリトアニア共和国日本領事館の領事代表となった。千畝が領事代表となってまもなく、ドイツ軍がポーランドに侵攻し第二次世界大戦が始まった。ポーランドと接しているリトアニア人は、ナチスドイツのひどい迫害を受けている多くのユダヤ人がポーランドから逃げてきた。そのユダヤ人たちは日本領事館に押し寄せ、日本を通過できるビザの発給を求めた。それは、ユダヤ人がナチスドイツからの迫害から生き延びるための手段が日本領事館で日本を通過するビザを発給してもらい、海外へ逃げることであったためである。しかし、当時の日本は日独伊三国同盟を結ぼうとしているさなかであり、日本の外務省は千畝にユダヤ人に対して日本の通過ビザを出すことを認めなかった。千畝は悩んだ挙げ句、外務省の指示に反し、愛ある決断で6000人もユダヤ人に対してビザを発給し、尊い命を救ったのである。

地球上に住んでいる人間の命はすべて同じ重さであり、軽重はないはずだ。戦争は明らかに人の命を軽視している行為であり、絶対に許される行為ではない。私たちは杉原千畝のように今、戦争が起きている場所において人命を救ったり、直接戦争を止めることはできないが、心の中で人の命の重さや尊さについて考えたり、友と話し合ったりすることはできる。この機会に改めて人の命の重さについて考えてほしい。

（参考文献：愛の決断 八百津町出身の外交官 杉原千畝 岡本文良著）

発行番号は昭和61年初号からの通算番号です。

[https://www.pref.yamanashi.jp/police/p\\_syonen/shonenkoho.html](https://www.pref.yamanashi.jp/police/p_syonen/shonenkoho.html)

**薬物乱用防止広報強化期間 令和4年6月1日(水)～7月31日(日)**

**ダメ、ゼッタイ!**



薬物の乱用とは、医療目的以外に医薬品を使用すること、又は医療目的ではない薬物を不正に使用することをいいます。精神に影響を及ぼす物質の中で、習慣性があり、乱用されるおそれのある薬物として、覚せい剤、大麻、MDMA、コカイン、ヘロイン、向精神薬、トルエン等があります。これらの取扱いについては、法令により禁止又は制限されています。

**薬物乱用は犯罪?**

薬物を所持・使用することは法律で厳しく禁止されています。  
持っているだけでも 一度使っただけでも もらっても あげたり、売ったりしてもダメ。

**【覚せい剤取締法】**

覚せい剤及び原料の輸入、輸出、所持、製造、譲渡、譲受及び使用に関して取締りを行うことを目的とする法律。10年以下の懲役。

**【麻薬及び向精神薬取締法】**

ヘロイン、コカイン、LSD、MDMAなどの所持・譲渡・譲受・使用などを取り締まる法律。7年以下の懲役。

**【大麻取締法】**

大麻の所持・譲渡・譲受などを取り締まる法律。5年以下の懲役、営利目的で栽培・輸入等した場合10年以下の懲役。

**【毒物及び劇物取締法】**

トルエンなどの摂取、又は吸入の目的での所持などを取り締まる法律。2年以下の懲役。

**大麻の危険性・有害性**

近年、インターネット上等において大麻の有害性を否定する情報が流され、大麻に対する警戒心の低下が懸念されています。大麻の有害成分は、不安やパニック等に加え、精神疾患を発症させるリスクを上昇させ、青少年期の乱用は、特に記憶力の低下等の影響を与えやすいとされているほか、組織的な大麻栽培が暴力団組織の資金源となっていることもうかがわれます。

大麻の乱用による社会や人体への悪影響と危険性を正しく認識することが必要です。

**薬物使用に誘われたら! どうする...?**

**A. 友達に誘われたら**

誘われてもきっぱり断る勇気を持ちましょう。

そういうの興味ない!

**B. 断りにくい先輩に誘われたら**

適当な理由を付けてその場から離れましょう。

急用が入って

**C. 公園で知人に**

すぐに場を離れ、公園やその人には近づかないように。

いや! 遠慮します

**D. ネットで知り合った人に**

危ない勧誘をしてくる人とは連絡を断ちましょう。

既読無視

薬物の規制を繰り返すだけでは、本質的な薬物のまん延を防ぐことはできません。薬物に手を出さないための教育、知識の付与、真の理解へと導く大人の努力が求められています。

「ダメ、ゼッタイ」を合い言葉に、子どもたちに「断る勇気」を持たせましょう。

**自転車の交通ルールを守ろう!**

自転車の利用による事故、トラブルが増加傾向にあります。

道路交通法において、自転車の危険行為として15項目が設定されています。自転車の交通ルール違反についても罰則があり、違反をすると、安全講習の受講が義務づけられます。

違反切符の対象となる「危険運転項目」は次の15項目です。(対象は、14歳以上の全ての運転者)

- ① 信号無視
- ② 通行禁止違反
- ③ 歩行者用道路における車両の義務違反
- ④ 通行区分違反
- ⑤ 路側帯通行時の歩行者の通行妨害
- ⑥ 遮断踏切立入り
- ⑦ 交差点安全進行義務違反等

- ⑧ 交差点優先車妨害等
- ⑨ 環状交差点安全進行義務違反等
- ⑩ 指定場所一時不停止等
- ⑪ 歩道通行時の通行方法違反
- ⑫ 制動装置不良自転車運転
- ⑬ 酒酔い運転
- ⑭ 安全運転義務違反
- ⑮ 妨害運転